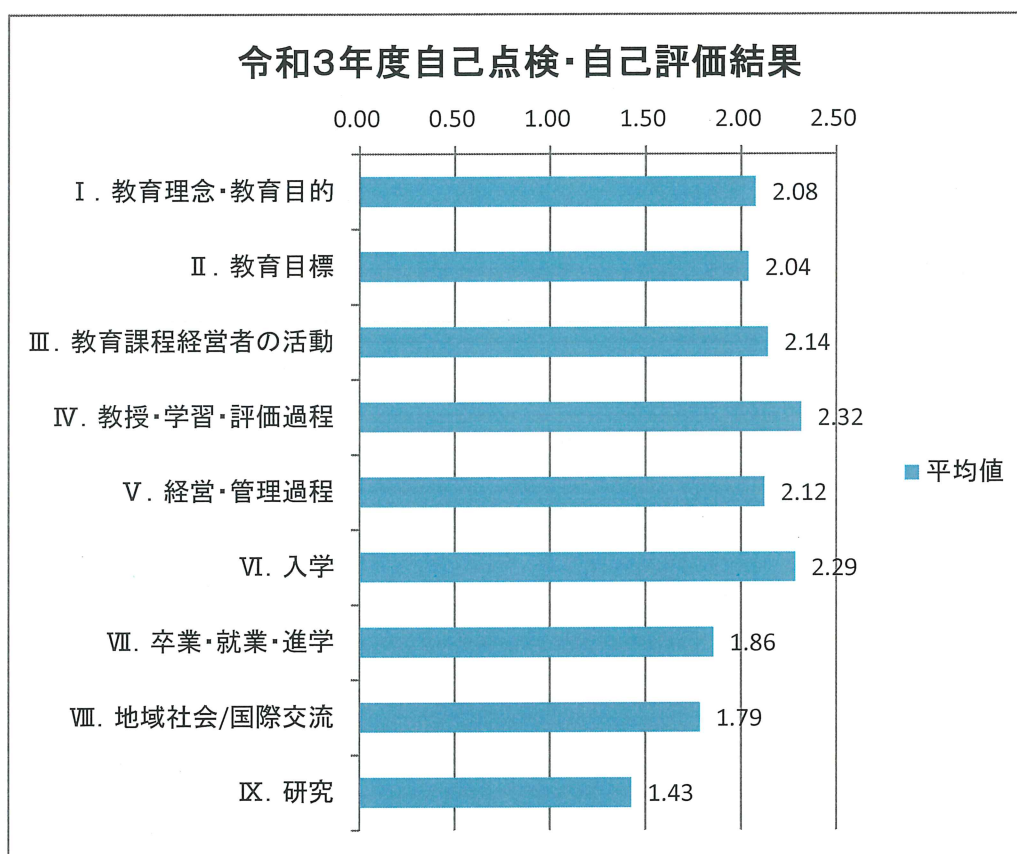


令和3年度 学校自己点検・自己評価

I. 教育理念・教育目的	2.08
II. 教育目標	2.04
III. 教育課程経営者の活動	2.14
IV. 教授・学習・評価過程	2.32
V. 経営・管理過程	2.12
VI. 入学	2.29
VII. 卒業・就業・進学	1.86
VIII. 地域社会/国際交流	1.79
IX. 研究	1.43



学校自己評価〔令和3年度〕

		今後の課題
I	教育 目的 理念	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラム改正に向けて、検討する必要がある。 ・学生便覧に理念、目的の記載があるが、学生への指針になるために活用されていないと思う。
II	教育 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラム改正に向けて、検討する必要がある。
III	教育 者の 課程 活動 経	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラム改正に向けて、検討する必要がある。 ・倫理規定がないため、作成する必要がある。 ・自己研鑽、相互研鑽が不十分なため、研鑽できるようなシステムが必要である。
IV	教授・ 学習 評価 過程	<ul style="list-style-type: none"> ・授業間の重複があるため明確にしていく必要がある。 ・技術指導の統一を図る必要がある。 ・学生への動機づけをどのようにするか検討が必要。 ・講義評価をみて、改善すべき所は改善している。
V	経営 管理 過程	<ul style="list-style-type: none"> ・新カリキュラム改正で変更などをしていく必要がある。 ・学生便覧には、明示しているが、教室等には掲示していない。現在見直し段階であり、でき次第学校のどこかに掲示していく必要がある。 ・図書数が不足しているため、増冊する必要がある。 ・SNSの活用を継続していく。 ・地域とのつながりをどのようにしていくか課題である。
VI	入学	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者減数のため広報など入学者増数の活動を継続して実施する必要がある。
VII	進路 卒業 学業	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業時アンケート実施を継続して、今後に生かしていく。 ・卒業就職先への調査が必要である。
VIII	国地 際交 社流 会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との関わりがまったくない現状だと思う。カリキュラム改正をきっかけに地域との関わりを深められる活動を取り入れるのがよいのではないか。
IX	研究	<ul style="list-style-type: none"> ・予算確保が困難である。